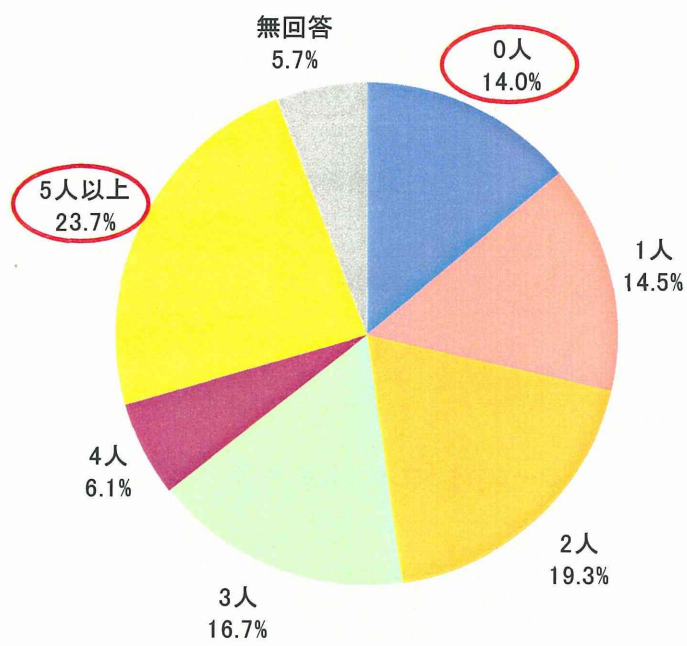


# 問 13- I : 気を使わずにつきあえる人数

- ・ 気を使わない人数では「5人以上」が2割を超え最も高くなった。次いで「3人」、「2人」となった。
- ・ また「0人」は1割半であった。



		n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		228	14.0	14.5	19.3	16.7	6.1	23.7	5.7
北海道計		114	13.2	13.2	21.1	20.2	6.1	21.1	5.3
福岡県計		114	14.9	15.8	17.5	13.2	6.1	26.3	6.1
協力自治体別	[北海道]A市	49	12.2	12.2	18.4	30.6	4.1	20.4	2.0
	[北海道]B市	10	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0	30.0	10.0
	[北海道]C市	30	13.3	16.7	23.3	13.3	10.0	20.0	3.3
	[北海道]D市	25	16.0	12.0	24.0	8.0	8.0	20.0	12.0
	[福岡県]E市	30	13.3	16.7	10.0	13.3	6.7	33.3	6.7
	[福岡県]F市	30	16.7	13.3	23.3	16.7	3.3	20.0	6.7
	[福岡県]G市	24	20.8	12.5	16.7	8.3	4.2	37.5	0.0
	[福岡県]H市	30	10.0	20.0	20.0	13.3	10.0	16.7	10.0

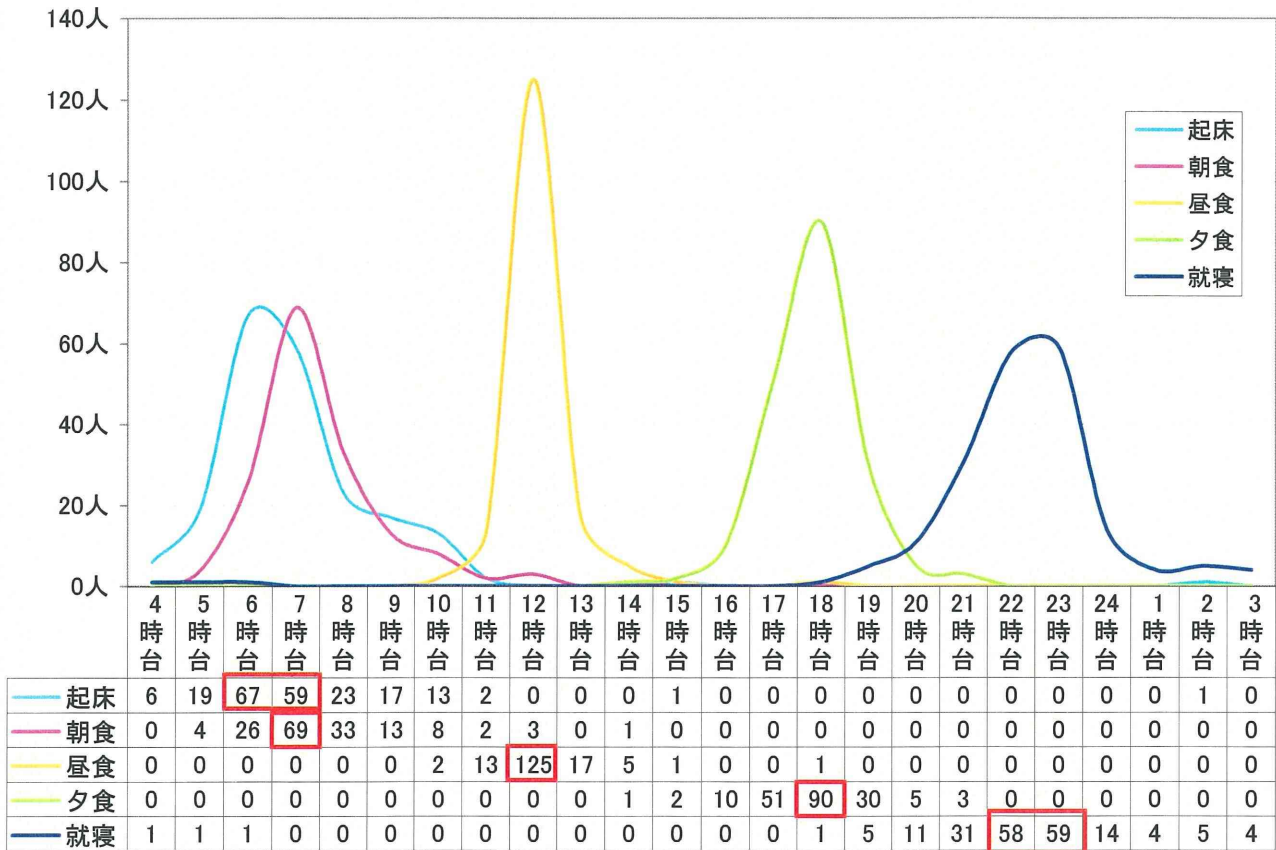
## 問 13-Ⅱ：気を使わずにつきあえる人数

- ・ 年代別で「0人」をみると、「50代」が最も多く2割を上回った。もっとも低いのは「20代以下」で5.0%
- ・ 近隣関係別で「0人」をみると、「つきあいはない」では3割近い割合と高くなったのに対し、「出会ったときに少し世間話をする」では3.9%と低い傾向となっていた。

		n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		228	14.0	14.5	19.3	16.7	6.1	23.7	5.7
年代別	20代以下	20	5.0	10.0	25.0	20.0	10.0	25.0	5.0
	30代	40	10.0	20.0	15.0	10.0	10.0	25.0	10.0
	40代	48	6.3	12.5	27.1	22.9	6.3	20.8	4.2
	50代	95	21.1	13.7	16.8	15.8	3.2	24.2	5.3
	60代以上	25	16.0	16.0	16.0	16.0	8.0	24.0	4.0
最終学歴別	小学校	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	92	15.2	16.3	19.6	17.4	4.3	22.8	4.3
	高校中退	22	9.1	9.1	18.2	22.7	9.1	22.7	9.1
	高校	80	18.8	10.0	20.0	15.0	3.8	27.5	5.0
	短大・高専中退	4	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	短大・高専	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	大学	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	職業訓練校	6	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7
	専門学校	14	7.1	28.6	21.4	7.1	21.4	14.3	0.0
	ほとんど学校には行っていない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
同居家族別	単身	118	19.5	14.4	16.9	15.3	5.9	22.0	5.9
	配偶者	30	10.0	13.3	20.0	20.0	10.0	23.3	3.3
	本人の母親	16	18.8	18.8	31.3	6.3	6.3	12.5	6.3
	本人の父親	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	息子	58	5.2	12.1	19.0	15.5	10.3	29.3	8.6
	娘	46	8.7	17.4	15.2	21.7	6.5	23.9	6.5
	配偶者の母親	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人の兄弟	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	本人の姉妹	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の親族	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
受給層別	昭和以前	8	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成元年～15年	38	15.8	18.4	21.1	7.9	5.3	21.1	10.5
	平成16年	13	15.4	7.7	15.4	38.5	0.0	15.4	7.7
	平成17年	18	5.6	16.7	38.9	33.3	5.6	0.0	0.0
	平成18年	11	27.3	9.1	0.0	27.3	0.0	18.2	18.2
	平成19年	26	15.4	15.4	19.2	26.9	0.0	19.2	3.8
	平成20年	35	5.7	8.6	22.9	8.6	11.4	40.0	2.9
	平成21年	71	14.1	15.5	14.1	12.7	8.5	29.6	5.6
近隣関係別	つきあいはない	41	29.3	7.3	9.8	26.8	2.4	14.6	9.8
	道で会えばあいさつぐらいはする	106	16.0	19.8	22.6	13.2	5.7	16.0	6.6
	出会ったときに少し世間話をする	51	3.9	11.8	19.6	11.8	3.9	47.1	2.0
	ときどき、お互いの家をたずねあう	16	6.3	6.3	12.5	18.8	18.8	37.5	0.0
	かなり頻繁にお互いの家をたずねあう	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	家族同様といえるくらい親しくつきあっている	4	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0

# 問 14- I : 生活の流れ (開始時間)

- 回答者の生活の流れは6時台に「起床」、7時台に「朝食」、12時台に「昼食」、18時台に「夕食」、22~23時台に「就寝」という傾向となっている。

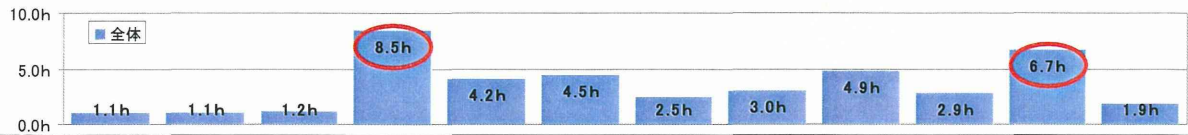


(人)



# 問 14- II : 生活の流れ (平均時間)

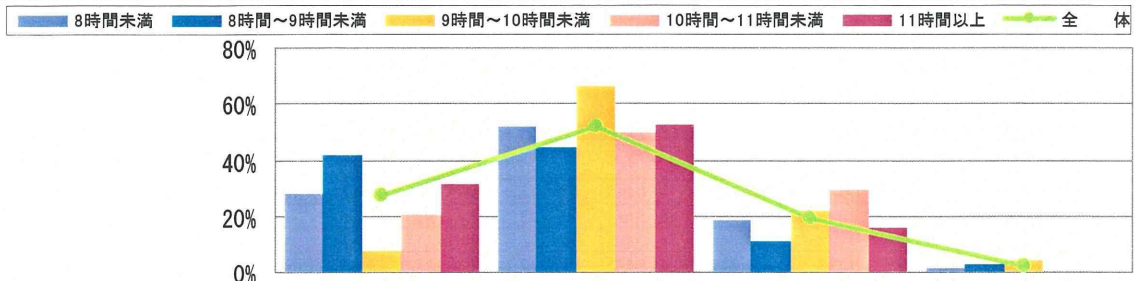
・ 日頃の生活で「自由時間」は 6.7 時間と、一日の中で多くの時間を占める傾向となっていた。  
 「家事」「仕事」「学習・学校」は平均約 4 時間、「食事」は平均約 1 時間、「睡眠」は平均 8.5 時間となっていた。



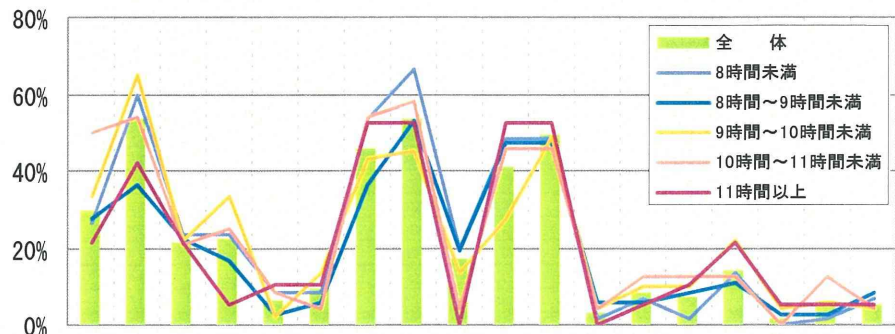
平均時間[h](回答数)	朝食	昼食	夕食	睡眠時間	家事	仕事	就職活動	就業支援プログラム	学習・学校	通院 (お見舞い)	自由時間	その他
全体	1.1 (177人)	1.1 (184人)	1.2 (208人)	8.5 (215人)	4.2 (150人)	4.5 (16人)	2.5 (67人)	3.0 (3人)	4.9 (7人)	2.9 (37人)	6.7 (218人)	1.9 (65人)
協力自治体別												
北海道計	1.2 (86人)	1.0 (95人)	1.1 (109人)	8.4 (110人)	3.7 (72人)	4.3 (8人)	2.5 (31人)	4.0 (2人)	2.0 (1人)	3.3 (18人)	7.0 (113人)	1.6 (32人)
福岡県計	1.1 (91人)	1.2 (89人)	1.3 (99人)	8.7 (105人)	4.6 (78人)	4.7 (8人)	2.5 (36人)	1.0 (1人)	5.2 (6人)	2.5 (19人)	6.3 (105人)	2.2 (33人)
[北海道]A市	1.2 (40人)	1.1 (39人)	1.1 (47人)	8.3 (48人)	3.6 (36人)	3.7 (3人)	2.4 (16人)	4.0 (2人)	2.0 (1人)	3.0 (7人)	6.4 (48人)	1.9 (18人)
[北海道]B市	1.9 (8人)	1.3 (8人)	1.0 (9人)	8.3 (9人)	5.0 (5人)	0.0 (0人)	2.0 (3人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.7 (4人)	5.6 (10人)	1.3 (4人)
[北海道]C市	1.0 (21人)	0.9 (25人)	1.0 (30人)	8.2 (30人)	2.8 (20人)	5.5 (4人)	2.0 (6人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.3 (4人)	7.8 (30人)	1.0 (2人)
[北海道]D市	1.0 (17人)	0.9 (23人)	1.3 (23人)	8.9 (23人)	5.1 (11人)	1.0 (1人)	3.5 (6人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	4.0 (3人)	7.8 (25人)	1.3 (10人)
[福岡県]E市	0.9 (25人)	1.8 (23人)	1.6 (27人)	8.8 (28人)	4.7 (24人)	4.0 (1人)	2.0 (7人)	0.0 (0人)	4.6 (5人)	1.0 (4人)	6.4 (28人)	1.3 (5人)
[福岡県]直F市	0.9 (23人)	1.1 (23人)	1.1 (25人)	8.8 (26人)	3.9 (23人)	5.7 (4人)	1.4 (10人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	2.0 (2人)	6.8 (25人)	2.5 (15人)
[福岡県]G市	1.4 (17人)	1.1 (18人)	1.3 (21人)	9.1 (23人)	5.7 (13人)	4.0 (1人)	4.5 (2人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.0 (10人)	6.0 (24人)	2.4 (5人)
[福岡県]H市	1.0 (26人)	1.0 (25人)	1.0 (26人)	8.1 (28人)	4.6 (18人)	4.0 (2人)	2.9 (17人)	1.0 (1人)	8.0 (1人)	2.0 (3人)	6.0 (28人)	2.0 (8人)
年代別												
20代以下	1.0 (15人)	0.9 (15人)	1.4 (18人)	9.3 (18人)	3.5 (13人)	0.0 (0人)	4.0 (4人)	0.0 (0人)	3.0 (1人)	0.0 (1人)	8.8 (17人)	1.0 (3人)
30代	0.8 (34人)	0.9 (32人)	1.1 (36人)	7.9 (38人)	5.4 (33人)	4.7 (3人)	2.9 (14人)	0.0 (0人)	5.0 (2人)	2.0 (6人)	5.6 (37人)	1.4 (13人)
40代	1.1 (35人)	1.4 (41人)	1.3 (45人)	8.8 (46人)	3.6 (33人)	5.0 (5人)	2.3 (17人)	4.0 (2人)	6.0 (3人)	3.3 (4人)	6.0 (47人)	2.5 (15人)
50代	1.2 (73人)	1.2 (73人)	1.2 (84人)	8.5 (88人)	3.9 (57人)	3.5 (5人)	2.3 (28人)	1.0 (1人)	2.0 (1人)	3.0 (25人)	6.8 (93人)	2.0 (28人)
60代以上	1.2 (20人)	1.0 (23人)	0.9 (25人)	8.6 (25人)	3.8 (14人)	4.7 (3人)	2.0 (4人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	4.0 (1人)	7.6 (24人)	1.2 (6人)
最終学歴別												
小学校	1.0 (1人)	1.0 (1人)	1.0 (1人)	9.0 (1人)	3.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	5.0 (1人)	4.0 (1人)	0.0 (0人)
中学校	1.1 (73人)	1.1 (74人)	1.2 (83人)	8.7 (86人)	4.3 (56人)	3.5 (4人)	1.9 (25人)	3.5 (2人)	4.3 (3人)	2.7 (19人)	6.7 (89人)	2.2 (27人)
高校中退	0.8 (14人)	1.0 (17人)	1.3 (20人)	8.9 (22人)	5.0 (14人)	0.0 (1人)	3.9 (7人)	0.0 (0人)	2.0 (1人)	1.5 (2人)	6.6 (27人)	1.3 (5人)
高校	1.0 (61人)	1.3 (63人)	1.1 (73人)	8.4 (73人)	4.0 (54人)	4.1 (9人)	2.6 (26人)	2.0 (1人)	6.0 (3人)	2.7 (11人)	6.6 (75人)	1.7 (25人)
短大・高専中退	1.3 (4人)	0.8 (4人)	1.0 (3人)	6.8 (4人)	5.8 (4人)	6.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	5.0 (2人)	4.0 (3人)	1.0 (1人)
短大・高専	1.0 (3人)	1.0 (3人)	2.0 (3人)	8.0 (4人)	5.3 (3人)	0.0 (0人)	1.0 (2人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	7.0 (3人)	1.3 (3人)
大学	2.0 (2人)	1.0 (2人)	1.3 (3人)	7.3 (3人)	1.5 (2人)	0.0 (0人)	4.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	8.3 (3人)	0.0 (1人)
職業訓練校	1.0 (6人)	1.0 (6人)	1.8 (6人)	7.8 (6人)	2.0 (3人)	10 (1人)	4.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	8.0 (6人)	2.0 (1人)
専門学校	1.6 (12人)	0.9 (12人)	0.9 (14人)	7.8 (14人)	4.0 (12人)	0.0 (0人)	1.8 (4人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	4.0 (2人)	6.4 (14人)	0.0 (1人)
ほとんど学校には行っていない	0.0 (0人)	3.0 (1人)	1.0 (1人)	15 (1人)	2.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.0 (1人)	0.0 (0人)
同居家族別												
単身	1.2 (88人)	1.1 (93人)	1.1 (111人)	8.7 (111人)	3.3 (68人)	3.4 (9人)	2.3 (36人)	1.5 (2人)	2.0 (1人)	3.1 (22人)	7.3 (117人)	1.9 (34人)
配偶者	1.0 (24人)	1.2 (27人)	1.0 (28人)	8.6 (29人)	4.4 (17人)	6.7 (3人)	2.0 (8人)	0.0 (0人)	8.0 (1人)	2.8 (6人)	5.9 (29人)	2.7 (7人)
本人の母親	1.3 (14人)	1.1 (13人)	1.0 (14人)	9.0 (15人)	2.6 (5人)	10 (1人)	2.8 (4人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	7.8 (16人)	2.0 (4人)
本人の父親	2.0 (2人)	2.0 (1人)	1.0 (2人)	9.5 (2人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	4.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	7.0 (2人)	0.0 (0人)
息子	0.9 (46人)	1.2 (49人)	1.4 (51人)	7.9 (54人)	4.9 (54人)	6.4 (5人)	2.8 (14人)	6.0 (1人)	4.8 (5人)	2.3 (8人)	5.0 (50人)	2.0 (19人)
娘	1.0 (35人)	1.0 (38人)	1.3 (39人)	8.1 (43人)	5.3 (43人)	5.3 (3人)	2.8 (12人)	0.0 (0人)	4.8 (5人)	2.3 (8人)	5.0 (40人)	2.2 (15人)
配偶者の母親	2.0 (1人)	2.0 (1人)	1.0 (1人)	8.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	4.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	2.0 (1人)	0.0 (0人)
本人の兄弟	0.0 (1人)	0.0 (1人)	1.0 (1人)	11 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	11 (1人)	0.0 (0人)
本人の姉妹	4.0 (2人)	1.5 (2人)	1.0 (1人)	5.0 (1人)	4.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	6.0 (2人)	0.0 (0人)
その他の親族	1.5 (4人)	1.2 (5人)	1.2 (5人)	9.3 (3人)	4.7 (3人)	0.0 (0人)	2.5 (2人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	2.0 (2人)	6.5 (5人)	2.0 (1人)
受給暦別												
昭和以前	1.5 (7人)	1.1 (7人)	1.0 (6人)	7.7 (7人)	3.7 (6人)	5.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	5.0 (1人)	7.9 (7人)	0.0 (1人)
平成元年～15年	1.2 (28人)	1.0 (26人)	1.0 (35人)	8.5 (38人)	4.9 (20人)	7.0 (2人)	4.5 (5人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.2 (5人)	6.9 (37人)	2.0 (8人)
平成16年	1.0 (10人)	1.0 (12人)	1.2 (11人)	7.6 (12人)	6.0 (8人)	6.0 (1人)	2.0 (2人)	0.0 (0人)	2.0 (1人)	0.0 (2人)	6.0 (13人)	1.0 (4人)
平成17年	1.2 (12人)	1.3 (15人)	1.1 (16人)	8.5 (17人)	4.0 (11人)	6.5 (2人)	1.0 (4人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.0 (2人)	8.1 (16人)	2.0 (2人)
平成18年	0.8 (7人)	2.0 (8人)	2.0 (9人)	8.9 (10人)	2.9 (9人)	0.0 (0人)	0.0 (2人)	0.0 (0人)	5.0 (2人)	2.0 (4人)	6.1 (10人)	1.5 (5人)
平成19年	1.1 (21人)	0.9 (23人)	1.1 (24人)	8.6 (21人)	2.9 (22人)	4.0 (3人)	2.0 (8人)	4.0 (2人)	0.0 (0人)	2.5 (6人)	6.5 (24人)	1.7 (10人)
平成20年	1.0 (26人)	1.1 (28人)	1.2 (34人)	8.5 (34人)	5.1 (20人)	2.0 (2人)	3.3 (10人)	0.0 (0人)	5.5 (2人)	3.0 (6人)	6.6 (34人)	1.8 (5人)
平成21年	1.0 (60人)	1.2 (58人)	1.2 (65人)	8.7 (68人)	4.1 (48人)	4.7 (4人)	2.3 (35人)	1.0 (1人)	5.0 (2人)	2.7 (10人)	6.1 (70人)	2.0 (28人)
近隣関係別												
つきあいはない	1.0 (30人)	1.5 (33人)	1.5 (38人)	9.0 (40人)	4.3 (18人)	4.0 (1人)	2.7 (16人)	1.0 (1人)	0.0 (0人)	3.5 (4人)	7.2 (38人)	1.3 (11人)
道で会えばあいさつぐらいはする	1.2 (84人)	1.0 (84人)	1.1 (97人)	8.5 (99人)	3.6 (70人)	5.0 (8人)	2.7 (35人)	4.0 (2人)	4.7 (3人)	2.9 (14人)	6.8 (102人)	2.4 (34人)
出会ったときに少し世間話をする	1.1 (42人)	1.1 (43人)	1.2 (47人)	8.2 (49人)	5.2 (40人)	4.3 (3人)	1.9 (8人)	0.0 (0人)	5.0 (2人)	2.4 (10人)	6.1 (48人)	1.2 (13人)
ときどき、お互いの家を訪ねあう	0.8 (10人)	1.1 (13人)	0.8 (16人)	9.1 (15人)	4.6 (11人)	1.0 (1人)	2.0 (3人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.0 (4人)	7.4 (16人)	1.5 (3人)
かなり頻繁にお互いの家を訪ねあう	1.0 (1人)	0.0 (0人)	2.0 (1人)	10 (1人)	2.0 (1人)	4.0 (1人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	0.0 (0人)	3.0 (1人)	0.0 (0人)
家族同様といえるくらい親しくつきあっている	1.3 (4人)	0.7 (4人)	1.0 (4人)	8.0 (4人)	2.3 (3人)	0.0 (0人)	1.0 (2人)	0.0 (0人)	2.0 (1人)	5.0 (1人)	7.3 (4人)	0.0 (0人)

# 問 14-Ⅲ：生活の流れ（問 8・問 9×睡眠時間比較）

- ・ 日頃の睡眠時間で就労の可能性をみると、「10 時間～11 時間未満」では全体に比べ「就労できると思わない」は高い割合となり、「8 時間～9 時間未満」では低い割合となった。
- ・ 就労への不安要素をみると、「景気が悪いので、仕事がないと思う」では「8 時間未満」が全体に比べ高い割合となった。



		n=	できず就労 と思う	たぶん就労 できると思う	就労できると 思わない	無回答
全 体		228	27.2	51.8	19.3	1.8
睡 眠 時 間	8時間未満	60	28.3	51.7	18.3	1.7
	8時間～9時間未満	36	41.7	44.4	11.1	2.8
	9時間～10時間未満	51	7.8	66.7	21.6	3.9
	10時間～11時間未	24	20.8	50.0	29.2	0.0
	11時間以上	19	31.6	52.6	15.8	0.0

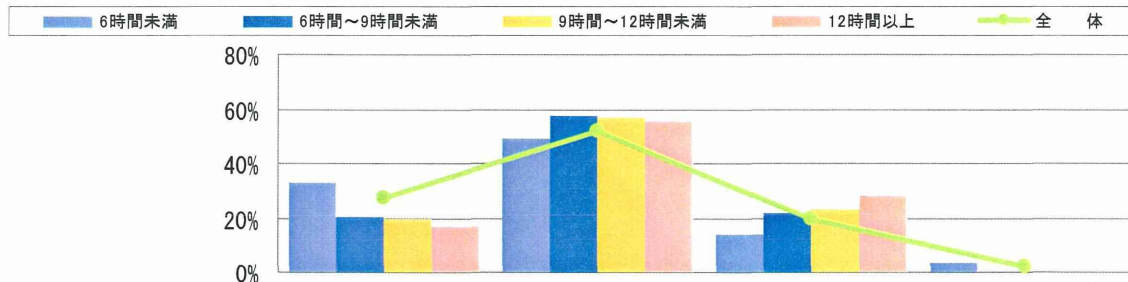


		n=	学力に自信がない	体力に自信がない	他人と人間関係を つくるのが苦手である	不安である	職場になじめない	決めた生活が苦手である	こなす自信がない	与えられた仕事を 難しいと思う	年齢的に就労が 難しいと思う	仕事がないと思う	景気が悪いので、 就労が制限される	子どもがいるので就 労資格がない	就労に有利な 通勤手段がない	自動車の 運転がわからない	履歴書の書き 方がわからない	面接の受け答えが 不安である	面接のための服がない	断られるのが怖い	面接を受けたい 仕事を探し方が わからない	その他	心配ごとはない
全 体		228	29.8	53.5	21.5	22.4	6.1	9.2	45.6	53.5	17.1	40.8	49.1	3.1	8.3	7.0	14.0	1.8	5.7	5.3			
睡 眠 時 間	8時間未満	60	26.7	60.0	23.3	23.3	8.3	8.3	53.3	66.7	20.0	48.3	48.3	1.7	6.7	1.7	13.3	0.0	1.7	6.7			
	8時間～9時間未満	36	27.8	36.1	22.2	16.7	2.8	5.6	36.1	52.8	19.4	47.2	47.2	5.6	5.6	8.3	11.1	2.8	2.8	8.3			
	9時間～10時間未満	51	33.3	64.7	21.6	33.3	2.0	13.7	43.1	45.1	13.7	27.5	49.0	3.9	9.8	9.8	21.6	3.9	5.9	3.9			
	10時間～11時間未	24	50.0	54.2	20.8	25.0	8.3	4.2	54.2	58.3	4.2	45.8	45.8	4.2	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	4.2			
	11時間以上	19	21.1	42.1	21.1	5.3	10.5	10.5	52.6	52.6	0.0	52.6	52.6	0.0	5.3	10.5	21.1	5.3	5.3	5.3			

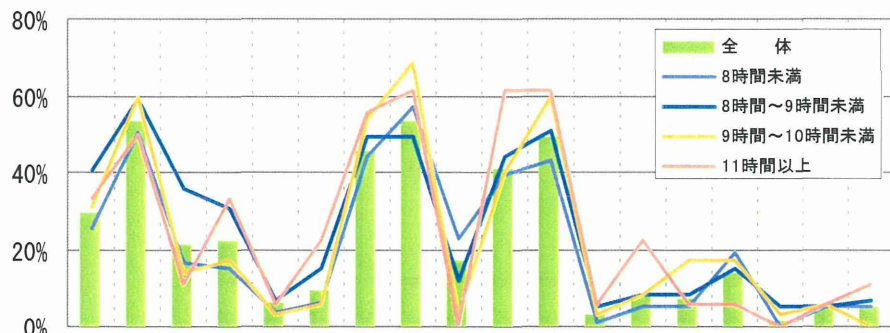


# 問 14-IV : 生活の流れ (問 8・問 9×自由時間比較)

- ・ 日頃の自由時間で就労の可能性をみると、「就労できると思わない」は自由時間が多くなるにつれて高い割合となった。
- ・ 就労への不安要素をみると、「景気が悪いので、仕事がないと思う」では「9 時間以上」で全体に比べて高い割合となった。



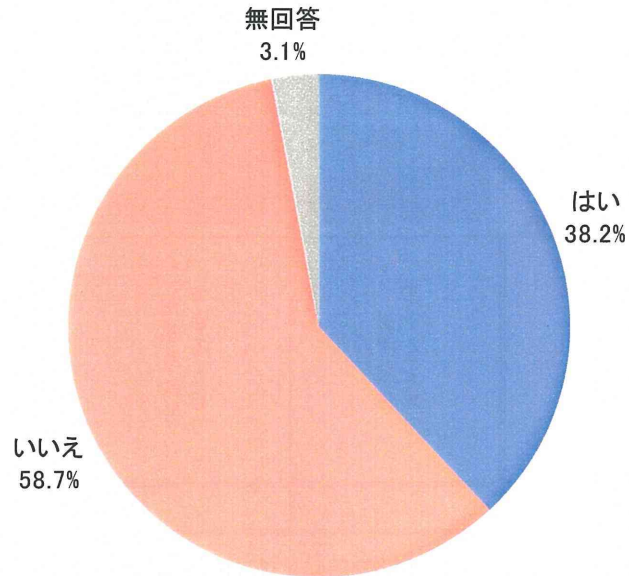
		n=	必ず就労できると思う	たぶん就労できると思う	就労できると思わない	無回答
全体		228	27.2	51.8	19.3	1.8
自由時間	6時間未満	79	32.9	49.4	13.9	3.8
	6時間～9時間未満	59	20.3	57.6	22.0	0.0
	9時間～12時間未満	35	20.0	57.1	22.9	0.0
	12時間以上	18	16.7	55.6	27.8	0.0



		n=	学力に自信がない	体力に自信がない	つくるのが苦手である	他人と人間関係を不安である	職場になじめない	決めた生活が苦手である	決められた時間にあわせない自信がない	与えられた仕事をこなす自信がない	難しいと思う	年齢的に就労が難しいと思う	景気が悪いので、仕事がないと思う	子どもがいるので就労の時間帯が制限される	資格がない	就労に有利な通勤手段がない	履歴書の書き方がわからない	面接の受け答えが不安である	面接のための服がない	面接を受けるのが怖い	面接をきっかけにわからない	仕事の探し方がわからない	その他	心配ことはない
全体		228	29.8	53.5	21.5	22.4	6.1	9.2	45.6	53.5	17.1	40.8	49.1	3.1	8.3	7.0	14.0	1.8	5.7	5.3				
自由時間	8時間未満	79	25.3	50.6	16.5	15.2	3.8	6.3	44.3	57.0	22.8	39.2	43.0	1.3	5.1	5.1	19.0	0.0	5.1	5.1				
	8時間～9時間未満	59	40.7	59.3	35.6	30.5	6.8	15.3	49.2	49.2	11.9	44.1	50.8	5.1	8.5	8.5	15.3	5.1	5.1	6.8				
	9時間～10時間未満	35	31.4	60.0	14.3	17.1	2.9	5.7	54.3	68.6	2.9	40.0	60.0	2.9	8.6	17.1	17.1	2.9	5.7	0.0				
	11時間以上	18	33.3	50.0	11.1	33.3	5.6	22.2	55.6	61.1	0.0	61.1	61.1	5.6	22.2	5.6	5.6	0.0	5.6	11.1				

# 問 15- I : 日課の有無

- ・ 日課の有無では「はい(ある)」が 4 割となった。



		n=	はい	いいえ	無回答
全 体		228	38.2	58.8	3.1
北海道 計		114	36.8	57.9	5.3
福岡県 計		114	39.5	59.6	0.9
協力自治体別	[北海道]A市	49	38.8	57.1	4.1
	[北海道]B市	10	10.0	80.0	10.0
	[北海道]C市	30	43.3	53.3	3.3
	[北海道]D市	25	36.0	56.0	8.0
	[福岡県]E市	30	46.7	50.0	3.3
	[福岡県]F市	30	36.7	63.3	0.0
	[福岡県]G市	24	33.3	66.7	0.0
	[福岡県]H市	30	40.0	60.0	0.0

## 問 15-Ⅱ：日課の有無

- ・ 年代別でみると、「はい(ある)」が最も多いのは「60代以上」で半数近くとなった。
- ・ 近隣関係別で「はい(ある)」をみると、「つきあいはない」で2割なのに対し、「出会ったときに少し世間話をする」では半数以上と大きい差がみられた。

		n=	はい	いいえ	無回答
全 体		228	38.2	58.8	3.1
年 代 別	20代以下	20	30.0	60.0	10.0
	30代	40	40.0	60.0	0.0
	40代	48	29.2	70.8	0.0
	50代	95	41.1	55.8	3.2
	60代以上	25	48.0	44.0	8.0
最 終 学 歴 別	小学校	1	0.0	100.0	0.0
	中学校	92	38.0	59.8	2.2
	高校中退	22	31.8	63.6	4.5
	高校	80	33.8	62.5	3.8
	短大・高専中退	4	50.0	50.0	0.0
	短大・高専	4	75.0	25.0	0.0
	大学	3	66.7	33.3	0.0
	職業訓練校	6	33.3	66.7	0.0
	専門学校	14	57.1	35.7	7.1
	ほとんど学校には行って いない	1	0.0	100.0	0.0
同 居 家 族 別	単身	118	39.8	56.8	3.4
	配偶者	30	33.3	63.3	3.3
	本人の母親	16	31.3	68.8	0.0
	本人の父親	2	50.0	50.0	0.0
	息子	58	37.9	60.3	1.7
	娘	46	41.3	56.5	2.2
	配偶者の母親	1	0.0	100.0	0.0
	本人の兄弟	1	0.0	100.0	0.0
	本人の姉妹	2	0.0	100.0	0.0
その他の親族	5	0.0	100.0	0.0	
受 給 暦 別	昭和以前	8	50.0	50.0	0.0
	平成元年～15年	38	44.7	55.3	0.0
	平成16年	13	30.8	61.5	7.7
	平成17年	18	55.6	44.4	0.0
	平成18年	11	9.1	72.7	18.2
	平成19年	26	53.8	42.3	3.8
	平成20年	35	34.3	65.7	0.0
平成21年	71	31.0	66.2	2.8	
近 隣 関 係 別	つきあいはない	41	22.0	73.2	4.9
	道で会えばあいさつぐら いはする	106	35.8	61.3	2.8
	出会ったときに少し世間 話をする	51	56.9	41.2	2.0
	ときどき、お互いの家を たずねあう	16	43.8	50.0	6.3
	かなり頻繁にお互いの家 をたずねあう	1	100.0	0.0	0.0
	家族同様といえるくらい親しく つきあっている	4	50.0	50.0	0.0



## 問 15-1 : 日課の内容 (自由記述)

協力自治体	年齢	日課
[福岡県] E市	28	PC
[福岡県] E市	38	アパート周辺の清掃
[北海道] B市	63	あみ物
[北海道] A市	36	ウォーキング
[北海道] A市	52	ウォーキング
[福岡県] F市	62	ギターの練習
[北海道] C市	63	さんぽ
[北海道] A市	25	ストレッチ
[福岡県] E市	53	スポーツ新聞を読む
[北海道] D市	56	ネコのせわ
[北海道] A市	35	ネットサーフィン
[北海道] A市	38	パソコンでネット
[福岡県] H市	44	パソコンの勉強、漢検の勉強
[北海道] A市	39	ハローワークでの求人
[北海道] D市	60	ひざ痛改善リハビリ。
[北海道] C市	51	ブログを見る。
[福岡県] F市	35	家の掃除を妻としています
[北海道] A市	37	家事
[福岡県] G市	41	家事は怠らないよう努めている。
[福岡県] G市	31	家事を怠らないこと。
[福岡県] F市	40	家庭菜園・犬の散歩・読書
[北海道] C市	64	花の手入
[福岡県] F市	55	花の手入れ
[北海道] D市	56	観葉植物の水やり
[福岡県] G市	41	基本的に家事
[福岡県] H市	50	機械いじり、(バイク修理、いじり)
[北海道] C市	55	求職活動
[福岡県] G市	52	魚にエサやり、散歩(犬と)
[福岡県] E市	56	近隣の点検(管理人なので)
[福岡県] E市	48	健康のため散歩
[北海道] A市	54	犬の散歩
[福岡県] F市	53	犬の散歩
[福岡県] G市	56	犬の散歩
[福岡県] H市	36	犬の散歩
[福岡県] F市	51	犬の散歩、PC
[北海道] A市	58	散歩
[北海道] A市	48	散歩

[北海道] A 市	51	散歩
[北海道] A 市	63	散歩
[北海道] C 市	63	散歩
[北海道] C 市	61	散歩
[北海道] C 市	60	散歩
[北海道] C 市	54	散歩
[北海道] C 市	45	散歩
[北海道] C 市	60	散歩
[北海道] D 市	55	散歩
[北海道] D 市	57	散歩
[北海道] D 市	59	散歩
[福岡県] E 市	37	散歩
[福岡県] F 市	40	散歩
[福岡県] F 市	59	散歩
[福岡県] F 市	59	散歩
[福岡県] G 市	56	散歩
[福岡県] G 市	59	散歩
[福岡県] G 市	58	散歩
[福岡県] H 市	58	散歩
[福岡県] H 市	48	散歩
[福岡県] H 市	17	散歩
[福岡県] E 市	49	散歩 ウォーキング
[北海道] D 市	61	散歩 ストレッチ
[北海道] D 市	33	散歩、ヨガ
[北海道] C 市	49	仕事
[北海道] A 市	22	子どもと体操
[北海道] A 市	59	趣味の裁縫
[福岡県] H 市	56	将棋
[北海道] A 市	53	新聞を読む、読書
[福岡県] E 市	54	掃除
[福岡県] E 市	30	掃除
[福岡県] E 市	36	掃除、洗濯
[北海道] A 市	43	体操
[福岡県] E 市	57	体操
[福岡県] H 市	40	通学
[福岡県] E 市	29	田川情報センター、パソコン教室、通学
[北海道] A 市	32	特になし
[北海道] A 市	50	読書
[北海道] C 市	28	読書
[福岡県] F 市	58	読書
[福岡県] H 市	55	読書

[福岡県] H市	36	読書
[福岡県] H市	40	読書、ママさんバレーボール（木、土）
[福岡県] E市	56	日記
[福岡県] H市	53	買物（見切品をスーパーで買い出し）
[北海道] A市	61	畑仕事
[北海道] D市	57	仏壇のお参り
[福岡県] F市	54	盆栽
[福岡県] E市	58	娘宅の手伝い



## 就労に結びつくアイデア（自由記述）

協力自治体	年齢	日課
[北海道] A 市	37	・運転免許取得（金銭的な支援）
[北海道] A 市	53	・資格取得に対する補助。
[福岡県] E 市	58	・自分は学力がないので、そういった人も資格が取れる支援があれば、就労に結びつく
[福岡県] E 市	48	・職業訓練校等の受入を広げて欲しい。 ・働きながら資格が取れるような支援があれば良い。
[福岡県] F 市	35	※生活保護受給者でも資格を取れる支援があればいいと思う（職業訓練校のようなもの）
[福岡県] E 市	56	アルバイトのような短期のものでも、福祉事務所であるとか色々な窓口で斡旋してもらえるようなシステムがあればいいと思う。
[福岡県] H 市	57	ハローワークの就労支援
[北海道] C 市	30	運転免許の取得支援
[福岡県] H 市	17	学力の向上をはかり、面接の仕方等教えるような支援
[北海道] C 市	55	技能講習
[北海道] C 市	45	技能講習等の支援
[北海道] C 市	55	技能取得（運転免許等）
[福岡県] E 市	53	訓練校にもって行けるようなシステム（年令的なもの等）
[福岡県] E 市	28	経験がない事で採用に至ってないので未経験者でも採用出来るようにして欲しい。
[北海道] A 市	38	個人的に就労相談にのってもらえる支援があると良い。
[福岡県] F 市	40	交通手段（車の所持等）が確保できるような支援があればよい。
[福岡県] F 市	40	仕事が見つかったからの支援（働き出してから1ヶ月目の交通費等） 就労を開始してから収入を得て、収入認定が分割してもらえたら楽に自立ができそう。
[福岡県] E 市	30	子供がいるので時間に制限があるので保育等を充実させれば資格等が取りやすくなるのでは。
[福岡県] H 市	26	資格（医療関係・介護）
[福岡県] F 市	29	資格をとる
[福岡県] H 市	55	資格をとれるような支援
[福岡県] E 市	37	資格を取る講習費用が高額、取得しやすくなれば
[福岡県] G 市	52	自動車の運転（足が悪いので）
[福岡県] H 市	49	自動車所有
[北海道] C 市	28	自動車免許の取得できればよい。
[北海道] D 市	57	車
[北海道] A 市	28	就職活動や面接時に子どもを一時的に預かって欲しい。

[福岡県] E 市	45	障害者に対する支援をもっと行ってほしい
[北海道] D 市	56	情報があれば働けるのに
[福岡県] E 市	53	情報提供をもっとしてほしい
[北海道] C 市	60	職業訓練
[福岡県] H 市	50	職業訓練校
[北海道] A 市	43	生活習慣を含めた規則正しい生活が何かから始めるレクチャーをしてほしい。
[北海道] A 市	45	生活保護受給者、専用の仕事
[北海道] A 市	51	多業種の就労セミナー。
[北海道] A 市	40	体を使う 外で体験就労が年間をつうじてたくさんあればいい。
[福岡県] F 市	38	働く人には車が必要です。
[北海道] A 市	50	内職（自宅内の作業で収入を得られる）があれば、腰が痛くても続けられると思う。※内職の募集自体がない。
[福岡県] E 市	58	年齢が高くても仕事が見つけられるようにしてほしい
[北海道] B 市	63	年齢制限のない飲食店があればいいと思う。
[福岡県] E 市	39	不足している職場に適した資格取得
[北海道] A 市	40	複数の資格を取得できる制度。
[北海道] A 市	75	保護受給者の技術指導（土木・技術等）（受給者から受給者の指導。60～70代から20～50代へ）

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございます。この調査は、厚生労働省の科学研究費「生活保護受給世帯の就労自立を促す成人基礎教育カリキュラムの開発」の一環として行われています。

生活保護を受給されている方の就労自立を助け、安定して地域で生活できるような支援のしくみやプログラムを作ることが目的です。みなさんの個人のお名前やプライバシーが表に出てご迷惑をおかけすることは決してありませんので、安心してご意見をお聞かせください。質問項目のなかには、失礼な質問もあるかもしれませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

【問1】お生まれになったのは何年ですか。

昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 ( ) 歳

【問2】あなたが最後に行かれた学校はどれになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 小学校
2. 中学校
3. 高校
4. 短大・高専
5. 大学
6. 大学院
7. 職業訓練校
8. 専門学校
9. 小学校中退
10. 中学校中退
11. 高校中退
12. 短大・高専中退
13. 大学中退
14. わからない
15. ほとんど学校には行っていない

【問3】現在と一緒に暮らしているご家族をおしえてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 単身
2. 配偶者
3. 本人の母親
4. 本人の父親
5. 息子( )人
6. 娘( )人
7. 配偶者の父親
8. 配偶者の母親
9. 本人の祖父
10. 本人の祖母
11. 本人の兄弟( )人
12. 本人の姉妹( )人
13. その他の親族( )

【問4】保護はいつから受給していますか。

昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

【問5】それ以前にも、生活保護を受給していたことがありますか。

ある場合は、回数もお答えください。

1. はい ( ) 回目
2. いいえ

【問6】現在、受給している保護期間中にケース・ワーカーの方は、何回くらい訪問されましたか。

これまでの訪問回数の合計を教えてください。合計 ( ) 回

【問7】現在、自立支援プログラムに参加されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. ハローワークとの連携による就労支援事業
2. 資格取得を支援する事業（パソコンや簿記など）
3. 就労準備に関する支援事業（履歴書の書き方・面接の心得など）
4. 就業体験的ボランティア事業（公園管理ボランティア、農業・林業などの作業体験）
5. 就労意欲を喚起するような事業（受給者同士の交流や居場所づくり）
6. 母子世帯を対象とした就労支援事業
7. その他 ( )

【問8】この先、就労できると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 必ず就労できると思う。
2. たぶん就労できると思う。
3. 就労できると思わない。



【問9】就労する上で不安なことはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

その中でも一番不安なものに◎をつけてください。

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 学力に自信がない。             | 2. 体力に自信がない。         |
| 3. 他人と人間関係をつくるのが苦手である。   | 4. 職場になじめるか不安である。    |
| 5. 決められた時間にあわせた生活が苦手である。 | 6. 与えられた仕事をこなす自信がない。 |
| 7. 年齢的に就労が難しいと思う。        | 8. 景気が悪いので、仕事がないと思う。 |
| 9. 子どもがいるので就労の時間帯が制限される。 | 10. 就労に有利な資格がない。     |
| 11. 自動車など通勤手段がない。        | 12. 履歴書の書き方がわからない。   |
| 13. 面接の受け答えが不安である。       | 14. 面接のための服がない。      |
| 15. 面接を受けて断られるのが怖い。      | 16. 仕事の探し方がわからない。    |
| 17. その他 ( )              | 18. 心配ごとはない。         |

【問10】現在、隣近所とは、どの程度、おつき合いがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. つきあいはない           | 2. 道で会えばあいさつぐらいはする       |
| 3. 出会ったときに少し世間話をする   | 4. ときどき、お互いの家をたずねあう      |
| 5. かなり頻繁にお互いの家をたずねあう | 6. 家族同様といえるくらい親しくつきあっている |

【問11】この一ヶ月間で、次の人々と世間話をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                 |            |
|---|-----------------|------------|
| 1. 同級生・同窓生                                  | 2. 同級生・同窓生以外の友人 | 3. 隣近所の人   |
| 4. ケース・ワーカー                                 | 5. 民生委員         | 6. 以前の職場関係 |
| 7. 家族・親せき                                   |                 |            |
| 8. 自立支援プログラムで知り合った人（市が紹介したボランティア先や資格取得講座など） |                 |            |
| 9. その他 ( )                                  | 11. 世間話をした人はいない |            |

【問12】生活する上で最も頼りになるのは誰ですか。 ( )

【問13】気を使わずに付き合える人は何人いますか。 ( )人

【問14】あなたの昨日の「生活の流れ」をお教えください。

記入例

起床	散歩・体操	朝食	準備・移動	プログラム 就労自立支援	移動	昼食	テレビ	昼寝	趣味	夕飯	テレビ	風呂・準備	読書	就寝
6:00	6:30	7:30	8:30	10:00	12:00	12:30	13:30	15:30	16:30	18:00	19:00	21:30	22:00	23:00

【問15】なにか日課をお持ちですか。お持ちの場合はどのようなものが教えてください。

- |           |        |
|-----------|--------|
| 1. はい ( ) | 2. いいえ |
|-----------|--------|

【問16】「こんな支援があったら就労に結びつくのではないか」というアイデアがあれば教えてください。

厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 21010901  
「生活保護受給世帯の就労自立を促す成人基礎教育カリキュラムの開発」

研究代表者 添田祥史 (北海道教育大学講師)

研究分担者 野依智子 (九州大学学術協力研究員)

稼働年齢層における生活保護受給者  
の生活実態に関する調査報告書

北海道教育大学釧路校 講師 添田祥史

〒085-8580 北海道釧路市城山1丁目15番55号

TEL・FAX(0154)44-3369

<http://www.hokkyodai.ac.jp>

E-mail:soeda@hokkyodai.ac.jp

厚生労働省セーフティネット支援対策等事業費補助金事業

生活保護受給者自立支援にかかわる  
第二次ワーキンググループ会議報告書  
(平成 21 年度～平成 22 年度)

及び

釧路市福祉部生活福祉事務所関係分資料  
(平成 21 年度～平成 22 年度分)



釧路市福祉部生活福祉事務所



はじめに

釧路市の生活保護受給者を対象とした自立支援プログラムは、平成16年度から2年間の国のモデル事業を契機として、平成18年度から本格的に取り組み始め、平成22年度で5年間を経過したところです。

この間、地域のNPOや介護事業所、社会福祉法人等をはじめ、学識経験者や行政関係者等多くの方々のご協力があった、今日、一定の成果を生むことができたものと考えており、関係各位には心から厚くお礼を申し上げます。

思い起こしますと、私たちの自立支援プログラムの契機となった「被保護母子世帯自立支援モデル事業」の取組みは、全くゼロからのスタートで、何をどう取組んで行けば良いのか、手探りの状態で始まりました。その中で、一筋の光を見出すことができたのは、ワーキンググループでの議論があったからだと思います。

まさに、その時の議論がその後の当市の自立支援プログラムの展開にも生かされ、全国から注目されるまでになったと言っても過言ではありません。

しかし、これまでの取組みの中で、新たな課題が見えてきたのも事実です。

私たちは、自立支援プログラムの取組みを開始してから5年目を迎えた昨年度から、更なる進化を見据えて、新たな形でワーキンググループによる議論を開始していただきました。その中では、これまでの当市の取組みで明らかになった成果や課題を洗い出すとともに、それをどう今後に生かし、克服していくべきかを議論していただきました。

詳細につきましては、本報告書にも掲載しておりますので、是非ご一読願いたいと思います。

さて、釧路市では、10数年来水産業や石炭産業の低迷が続き、地域の経済や雇用も冷え込んでおり、この間有効求人倍率も0.5倍以下で推移しています。

こうした中、被保護世帯は増加の一途をたどっており、過去最高を更新し続けるという非常に厳しい状況に置かれていますが、私たちはこうした厳しい中であって、貧困に陥った市民の生活をしっかりと支えることが、生活保護の実施機関としての使命であると考えています。

また、市民19人に1人が生活保護を受けている現状からいえば、これをごく一部のものとして排除するのではなく、一市民として包摂しながら、それぞれが可能な範囲で役割を担っていただく、行政としてそうした場を提供する努力が求められていると考えています。

まさに、それが私たちの自立支援プログラムに取り組む基本姿勢だと言えます。

これからも厳しい状況が続くと思われませんが、生活福祉事務所一丸となって自立支援プログラムの推進に取り組んでいく所存でありますので、引き続き関係各位のご協力を賜りますようお願いいたします。

釧路市福祉部生活福祉事務所長

木津谷 康二

# 目 次

はじめに

## 第 1 部 生活保護受給者自立支援にかかわる第二次ワーキンググループ会議報告書

序 章 第二次ワーキンググループ会議立ち上げについて……………	1
第 1 章 自立支援プログラムのさらなる飛躍をめざして……………	2
1-1 「評価と検証」のための第二次ワーキンググループ……………	2
1-2 「評価と検証」をどうすすめたか……………	4
1-3 「評価と検証」のための分析枠組み……………	5
第 2 章 自立支援プログラムの到達と課題……………	7
2-1 自立支援プログラムの現状……………	7
2-2 自立支援プログラムの到達点と成果……………	8
2-3 自立支援プログラムの課題……………	9
2-4 当事者の視点から一・題の整理と提言……………	10
2-5 支援・受け入れ当事者から見た自立支援プログラムの到達と課題……………	13
2-6 自立支援プログラムの実施体制全体に関わる一・題と社会的影響について……………	17
第 3 章 さらなる飛躍にむけた基本方策……………	21
3-1 「釧路の三角形」再考……………	21
3-2 地域における人・情報・サービスの結節点（＝ハブ）の創設……………	25
3-3 さらなる飛躍を支える生活福祉事務所のバージョンアップ……………	29
これからの自立支援プログラム推進について……………	33
参考資料	

## 第 2 部 釧路市生活福祉事務所関係分資料（平成 21 年度～平成 22 年度分）

第 1 章	釧路市における生活保護概況	35
1-1	生活保護の動向	35
1-2	生活福祉事務所組織図	39
第 2 章	釧路市における自立支援プログラム	40
2-1	自立支援プログラムの全体概況	40
2-2	自立支援プログラム推進事業の年次推移	41
2-3	平成21年度自立支援事業実績	43
2-4	平成22年度自立支援事業実績	47
2-5	生業扶助と扶助費削減効果額について	51
2-6	自立支援ボランティア活動風景	52
2-7	自立支援ボランティアに参加して - 感想 -	55
2-8	プログラム別アンケート集計	63
2-9	高校行こう会参加者の動向	68

参考資料